

新幹線プレス

2012年4月24日 No.42

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

経営協議会シリーズ4

チェックシートの煩雑化を無くそう！ 作業よりもチェックシートの作成に時間がかかる！

新幹線鉄道事業本部の「平成24年度実行計画」で、車両系統における運転事故防止対策の具体的な取り組みの一つに、「重要作業ハンドブックの導入により作業方法の実態を確実に把握し、チェックシートを見直すことで、重要作業のワンランクアップ管理を実施する」と記載されています。

この間の数々のチェックシートは、2010年1月29日のJ48編成の架線切断事故以降、作業者のヒューマンエラーを防止するため、簡単な作業に対しても数多くのチェックシートが用いられてきました。しかし、数多くのチェックシートを付けても作業者のヒューマンエラーを防止することは出来ません。現に、作業者のヒューマンエラーが今年に入って増えてきている現実を会社はどのように見ているのでしょうか？今までの対策は、会社の苦し紛れの責任逃れの策だったといえます。ゆえに、本年度の実行計画で、チェックシートの見直しをしなければならなくなったのです。

現場の声を基にした、チェックシートの見直しを！

会社はヒューマンエラー防止対策にチェックシートを導入していますが、経営協議会では組合側から、作業の際のチェックシートが煩雑化し、作業よりもチェックシートの作成に注意が奪われ、チェックの方が作業者は気になりミスを起こす要因であると指摘してきました。

仕事の流れ、安全確保のために必要なポイントを理解して万全な作業を行う為にもチェックシートの煩雑化はやめ、チェックシートを見直し簡略化を要求しました。

JR東海労新幹線地本は、チェックシートの簡略化を求めて職場から声を出し、取り組みを進めていきます。

安全で明るく働きやすい職場をつくるため

共に声を出していきましょう！